

1993年 4月25日

毎月25日発行

・第155号 4頁 200円

定期購読料（送料込み）

半年 1500円、1年3000円

赤旗

共產主義者同盟中央機關紙

発行

二面…鬭争報告

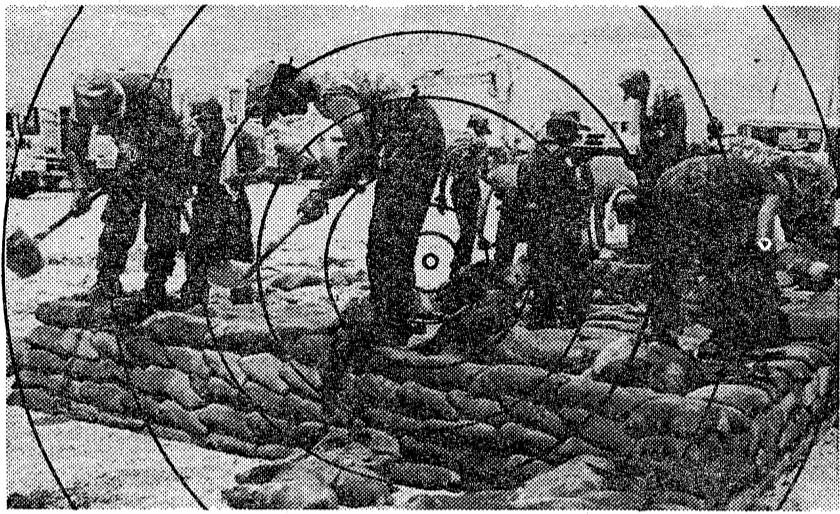
三面…新入生歡迎Q & A

四面…われわれの統一戦線戦術

東京都下谷郵便局私書箱180号
(関西) 大阪市港郵便局私書箱40号

自衛隊即時撤兵！

民主カンボジア 壊滅作戦打ち碎け



民主カンボジアとの戦闘に備え陣地を構築する
自衛隊員（四月十九日、タケオ）

カンボジア 新局面の特徴

日帝も参戦事態に突入

モザンビーグの出兵を阻止せよ

国連・日本人選挙

を頭目とする國際帝國主義による新たな新植民地支配による秩序確立の為のプロセスとしてのパリ和平協定の本質をはじめから知った上で、一つの妥協として、その中でベトナムの軍事占領とプロンペン政権の支配を弱体化せしめる戦術として和平協定に参加していたのが否かはわからない。しかし、ともあれこの三月、「U N T A C はもはや終りだ」という結論を下した。これは大変よい歓迎すべきことで、アは、これ以降 U N T A C に対しても、断固たる闘争

るようになつた。ソア人民の UNTA とベトナム・プロンに対する憤激の高まりをこした民主カンボジアの代表を引き揚げ、十七日四月五日、ラジオ放送で UNTACとの最後の接觸である SNC (カンボジア最高国民評議会)に対し、「新しい敵」と規定し宣戦布告している。

そして四月十日、UNTACはついに、プロンペンの転換は、四月七日からボイコットすると表明し、十九日プロンペン政権軍が投票所を軍事管制下に置くことを許可した。選挙に参加する一政党、しかもラナリット派などの他の投票への選舉運動方針書テロも、プロンベンで開かれる。そこで、そこからも事实上撤

モザンビーク出兵反対防衛厅抗議行動
モザンビーク出兵反対防衛厅抗議行動

うに鮮明だったことである。これは、まさに半世紀前、米帝が世界霸權を手にし、一大戦争に際して出征する兵士とその家族を自家業籠置きにし、ロギーに他ならず、日帝の現代的霸權拡張政治を積極的に支える性格のものなのだ。

我々は、この日本人国連ボランティアとその家族が強固に保持し、民衆の中に（既に播ぎだしているが）まだ根強い「民主主義」に対する幻想を打ち砕かずして、海外派兵と侵略戦争を推進する政治の流れを覆えすことが決してできないことを、明確に認識しなけ

植民地の「見地」から民主カンボジアを含むカンボジア人の民族自決権を完全に支持し、UNTAC（帝国主義）との同盟者（ベトナム・プロンベン政権）に対する民族的反乱に連帶すること。そして日帝の参戦状態（投票箱武力防衛業務）突入弾劾・即時撤兵を掲げて闘い、米帝が自論む軍事介入の新局面に備えることである。	「民主主義」はそれが全面的にふとられたとしても、資本の支配を終わらせることにられないし、むしろ国際的組織する分業への人々の
会的諸団体・諸民族の隸屬	ればならない。もとより、「民主主義」は今日なお層広範に全面的にたたかれたるべき課題として、女性や先住民族などから鋭く提起されることは、いえ、「民主主義」はそれが全面的にふとられたとしても、資本の支配を終わらせることにられないし、むしろ国際的組織する分業への人々の

ア	点	日
5・22	比谷野音	カンボジア即時撤兵要求デモ
5・29	成シンボ／文京区民センター	異議あり！「東京サミット」共同行動結
6・29	安斎庫治さんを偲ぶ夕べ／東京勤労福祉会館	成シンボ／五時半／文京区民センター
6・6	いいかげんにしろ！皇太子結婚 私たち は祝わない 6・6コンサート&トーク／ 正午／上野水上音楽堂	いいかげんにしろ！皇太子結婚 私たち は祝わない 6・6コンサート&トーク／ 正午／上野水上音楽堂

改憲攻撃と 「三千語」運動

カンボジア第二次出兵と天皇の史上初の訪沖を受けて、日本帝国主義政治委員会が推進する派兵時代の幕明けを飾る政治日程は、五月総選挙に絡んで激化するカンボジア内戦へのUNT A.C. 部隊の一員としての軍事介入の強化とモザンビーカ出兵、六月皇太子「成婚」を横軸とする天皇制とそのイデオロギーによる国民統合と統一地方選、七月東京サミットと、加速的な展開をみせる。それは、宮沢自民党政権がカンボジア派兵とベトナムODA援助を背景にして、「アジア・太平洋圏の政治・安全保障上の立場」からするイン・ドン・ソラ総合開発（宮沢ドクトリ）の開催と今秋国会解散・総選挙へと至る。

われわれが着目しなければならないのは、この政治日程が経済大国にふさわしい国連での政治スタンスの確立、すなわち九

五年国連安全保障常任理事会への参入をめざそうとする外交政策の展開としてあることである。

このことは、反PKO・反派兵をめざす共同行動の発展強化によっても極めて重大である。

改憲と二大政権体制にむけた戦後の保革対立構造の最終的解体は、従来の「護憲プロック」の消滅と、われわれの共同行動が連携してきた社会党左派の運動基盤の崩壊を意味するからである。

事実、「政界再編への確実な歩みは始っており、抵抗の党から政権を担える党への転換」をスローガンとする山花社会党本部が護憲派の切り捨てを決意したことを受け、労研セントラル政権を担える党への転換をスローガンとする岩井章氏は、「今年中には社会の解体的状況が迫る。徹底的

な党内闘争で党の危機を乗り越えていくことが必要だが自衛隊の史実上の訪沖を受けて、日本帝国主義政治委員会が推進する派兵時代の幕明けを飾る政治日程は、五月総選挙に絡んで激化する

「三千語運動」は、まさに

い」と述べ、護憲・全労協ブロックの社会党からの訣別が本格化する。そして、このことを受けて、社会内で孤立する反PKO・護憲派勢力との結合で、「從来の護憲勢力に欠けていた視点を補い、明文改憲を阻止する勢力を結集し、「民衆の憲章づくり」の運動を巻き起そう」と、「三千語運動準備会」が発足した。

九条改憲阻止という一点で結び合うと銘打たれたこの運動は社会党の下部機関活動家のみな

らず、地方自治体をはじめとす

る選挙活動に力点を置いて「自立的政治勢力」（フロン

ト）や「自立派政治勢力」（共

業）をめざす社会主義政治連

合潮流から歓迎され、多くの知識人や市民運動家も合流の気運

を活発にしている。旧来の確執を超えて「九条改訂阻止」（現

「護憲・改憲阻止の運動の大波

を起こそう」という山川暁夫氏

の発題は、反派兵・反PKOの全国的なネットワーク作りと並んで、民衆運動のかなりの共感を産み出し、今後の反戦・平和運動の発展に大きな規定力を持つ

乘り越えていく歴史的視点

民衆憲章の実現」で一致して、

「護憲・改憲阻止の運動の大波

を起こそう」という山川暁夫氏

の発題は、反派兵・反PKOの全国的なネットワーク作りと並んで、民衆運動のかなりの共感を産み出し、今後の反戦・平和運動の発展に大きな規定力を持つ

乗り越えていく歴史的視点

民衆憲章の実現」で一致して、

「護憲・改憲阻止の運動の大波

を起こそう」という山川暁夫氏

の発題は、反派兵・反PKOの全国的なネットワーク作りと並んで、民衆運動のかなりの共感を産み出し、今